

○新年のご挨拶○



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、一昨年に続き、味噌川ダムにヤギさん除草隊がやって来て、味噌川ダムの草刈をほんのちょっとだけ手伝ってもらったとともに、地元木祖村の保育園の園児さんたちにもヤギさんを見てもらう絶好の機会となりました。



また、ダムの管理用トンネルで、地域活性化の取り組みとして、地元木祖村湯川酒造店さまの純米吟醸酒を貯蔵し、「ダム貯蔵酒」として蔵出しするという、はじめての取り組みが行われました。

その取り組みは、木祖村に取材に来たNHK「あさイチ」の「出たトコ！村」に取り上げられ、合わせて、味噌川ダムやダム湖である奥木曾湖でのカヌーが紹介されたことは、味噌川ダムの恩恵を受けている岐阜県・愛知県のみなさまへの大きなPRとなったばかりでなく、全国のみなさまに、木祖村、そして味噌川ダムを知っていただく絶好の機会となり、本当にうれしい出来事でした。

昨年は、九州北部豪雨という未曾有の降雨が北部九州を襲ったり、短時間に大きな雨が岐阜県や愛知県を襲ったりと、今まで経験したことのないような自然災害も多くありました。

幸いにも味噌川ダムでは洪水調節を行うような雨に見舞われることもありませんでしたが、5～6月にかけての木曾川流域全体での少雨傾向により生じた河川流況の悪化に対応して、ダムから河川への補給が行われました。

また、昨年10月には、味噌川ダムでは例年の2倍以上の雨が降り、10月末には、ダムは満水となりましたが、11月以降は、木曾川流域全体で雨が少なく、現在は、下流域に向けて、ダムから水を補給しており、今後の状況が心配でもあります。

今までに経験したことがないような、自然の災いが、いつ襲って来てもおかしくない昨今、それに対して、いつでも対応できるように備えていることが、今年も、味噌川ダムの重要な業務であると認識しています。

また、施設の老朽化を見逃すことのないように、引き続き、適切な管理をして参ります。

昨年から、木祖村で開催されている「木祖村 川等活用振興検討会」では、地域活性化の取り組みの一つとして、奥木曾湖の活用についても検討していただいています。木曾川下流域のためだけの味噌川ダムではなく、奥木曾湖が地域にとって少しでも多く役に立ち、地域のみなさまにも愛される味噌川ダムとなるよう、今年も職員一同、努力してまいりたいと思います。

最後となりましたが、今年がみなさまにとって良い年であることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

独立行政法人水資源機構 味噌川ダム管理所長

稲木 道代

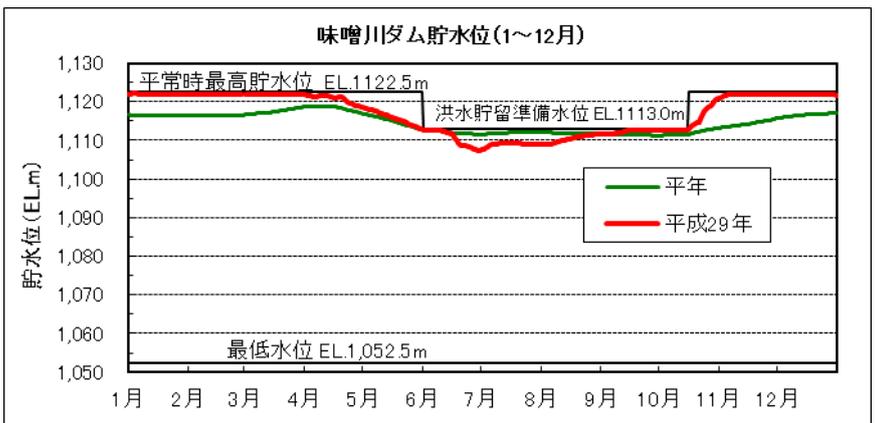
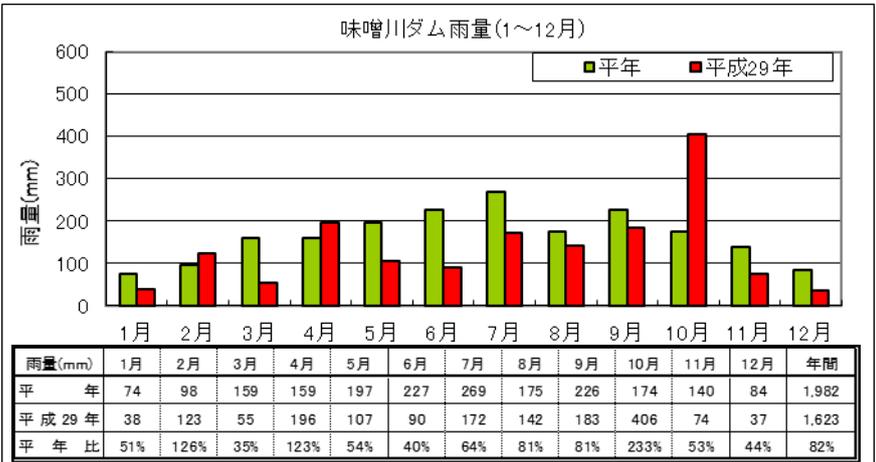
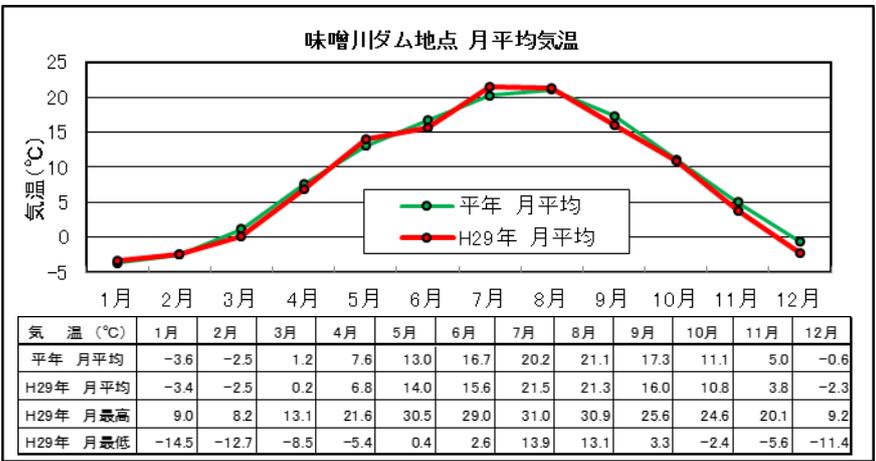


管理の状況

平成29年のダム地点の年間平均気温は 8.5℃で平年の 8.9℃と比べ 0.4℃低いものとなりました。また、ダム地点の年間降水量は 1,623mm で平年より 359mm 少ないものとなりました。

洪水期（6月1日～10月15日）では、6月中旬から下流河川の流況の悪化に伴い、ダムに貯留にした水を下流河川へ補給したことにより一時的にダム貯水位は低下したものの、その後の降雨により徐々に貯水位は回復しました。非洪水期（10月16日～）移行後は、直後の台風21号と22号による出水をほぼ全量ダムに貯留したことにより、管理開始以降最速で満水となりました。

ダムの湖面は、気温の低下とともに上流付近から結氷が始まっています。



木曽谷新春一斉 狼煙上げ 1月4日(木)

木曽谷の連携を深めようと、まちづくりに取り組む団体などでつくる、木曽谷狼煙上げ連絡会主催の「新春一斉狼煙上げ」が木曽谷 27 カ所で行われました。木祖村では NPO 法人「木曽川・水の始発駅」が中心となり準備を進め、村民センター裏の三角土場・きさらぎの里運動公園・味噌川ダム柳沢尾根公園の 3 カ所で行いました。味噌川ダム職員も柳沢尾根公園での狼煙上げに参加させていただきました。AM10:30 点火し村民のみなさんと一緒に今年一年の無事を願いました。



★ご意見等ありましたら
当ダムへご連絡ください。
味噌川ダム HP
<http://www.misogawa.jp>
E-mail misogawa@avis.ne.jp

